

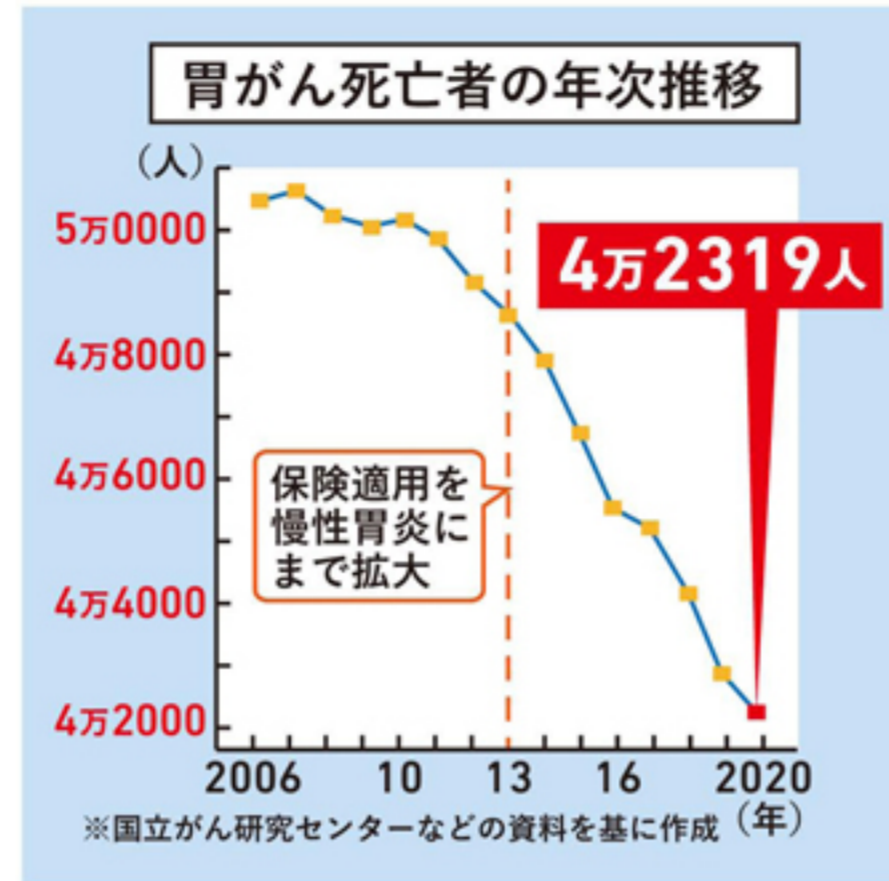
あきの公造ってこんな人!



3万7000人を胃がんから救った

北海道医療大学 **浅香 正博** 学長

あきのさんには「なんて仕事のできる人だろう」と驚くばかりです。胃がんを予防するピロリ菌除菌の保険適用が拡大した時もそうでした。どの議員に要望しても進まなかった保険適用が、あきのさんに相談したとたん、すぐに国会で質問してくれ、なんと国が胃がんの原因をピロリ菌と初めて認めたのです。その後、2年で保険適用が実現。結果、8年間で3万7000人の命が救われました。厚労省での経験から、どうすれば国が動くかを熟知している人です。また、医師として本当に心があり、現実に国民の命を救っている稀有な政治家です。



一人の声から不妊治療の法律つくる

NPO法人Fine **松本亜樹子** 理事長
(現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会)

福岡の一人の女性の声をきっかけに、あきのさんが先頭に立って「生殖補助医療法」を成立させたことは、不妊治療を受ける当事者にとって画期的なことでした。長い間、一部の人から「自然な妊娠でない“不妊治療”で子どもを授かるのは、いかがなものか」と否定的な言葉を投げかけられ、悲しい思いをしてきた人が大勢います。この法律のおかげで、国が定めた正式な治療として、安心して堂々と受診できやすくなりました。今年4月から始まる不妊治療の保険適用も含め、女性の声をカタチにするあきのさんの尽力に心から感謝しています。

生殖補助医療法

あきの公造参院議員が筆頭発議者となり、議員立法で2020年12月に成立。人工授精や体外受精などの生殖補助医療について、その定義や基本理念を法定化するとともに、第三者の精子や卵子を用いて生まれた子の親子関係を定めた。公明党の議員が筆頭発議者となった法律は初めて。



日本を動かす“コロナ対策の専門家”

夜回り先生 **水谷 修** 氏

コロナ禍にあって医師の資格を持ち、感染症対策の専門家であるあきのさんの存在はとても大きい。国内初の治療薬「レムデシビル」の特例承認をはじめ、全国民分のワクチン確保、血液中の酸素濃度を測るパルスオキシメーターの導入など、あきのさんの奮闘によってどれだけの国民の命が救われたことか。多くの国民が待ち望んでいる国産飲み薬の実用化に向けても、あきのさんが先頭に立って政府を動かしてくれています。「待っていてください。もうすぐ飲み薬が日本中に広がりますよ」。このあきのさんの言葉が間もなく現実になろうとしています。日本にとって不可欠な存在です。

夜回り先生 水谷修 政治を語る③

—— 好評配信中! ——

夜回り先生こと水谷修氏が、国民の命を守るあきの公造の魅力を存分に語っています。右記のコードからご覧いただけます。

▲動画の視聴はこちら



政治でなければ救えない命がある。

法律を変えるだけで救える、多くの命がある。政治ならそれができる。その思いを胸に走り抜いた12年間は、3万7千人の命を救ったピロリ菌除菌の保険適用や、海外製のコロナワクチンの全国民分の確保など、多くの命を救う数々の実績を実現させた。目前で苦しんでいる一人のために、政治をどう使えるか。コロナという国難に政治と医療が立ち向かう今、医師としての信念が、きっとあたらしい道を切り拓く。

医学博士 / 参議院議員 / 元厚労省医系技官

あきの公造

AKINO KOZO PROFILE (秋野公造プロフィール)

医師・医学博士。元厚生労働省医系技官。元東京空港検疫所支所長。党新型コロナウイルス感染症対策本部副本部長、党九州方面本部長代行、党福岡県本部副代表。参議院議員2期。長崎大学大学院医学研究科博士課程修了。北九州市在住。54歳。

(客員教授)

長崎大学・長崎国際大学・長崎外国語大学・福島県立医科大学 広島大学大学院・横浜薬科大学・和歌山県立医科大学・北海道医療大学 聖マリアンナ医科大学・大阪医科薬科大学

(客座教授)

東北師範大学

(主な受賞)

2002年 日本内分泌学会 若手研究奨励賞
2005年 ヨーロッパ組織再建学会 若手研究奨励賞
2007年 日本創傷治療学会 研究奨励賞
2009年 アメリカ・日本創傷治療学会ジョイント学会 第1回優秀演題

OFFICIAL SNS (オフィシャルSNS)



公明党が実現! 国民の命と暮らしを守る コロナ対策



- ◆**全国民分のワクチンの確保、無料化**
海外メーカーと政府の交渉が滞っていた2020年7月、国会で予備費の活用など、海外ワクチン確保への予算措置を要求。財源の見通しが立ち、全国民分の確保、無料化を実現できました。
- ◆**国内初の治療薬「レムデシビル」が承認**
2020年3月の国会質問で治療薬「レムデシビル」の活用をいち早く提案し、「国内初の治療薬」として特例承認された結果、死亡率が減少。中等症や重症患者の治療に効果を発揮しています。
- ◆**海外製飲み薬を確保**
昨年12月に国内承認された米メルク社製「モルヌピラビル」(160万人分)、2月10日に国内承認された米ファイザー社製「パキロビッドバック」(200万人分)の確保を後押し。



- ◆**特別定額給付金(一律10万円給付)の実施**
2020年に実施された、全国民に一律10万円を給付する特別定額給付金。山口那津男代表が当時の首相に直談判し、突破口を開きました。さらに、困窮する学生1人当たり10万円の緊急給付金や18歳以下(高校3年生まで)への10万円相当の給付も推進しました。
- ◆**持続化給付金の創設**
売上げが半減した事業者に最大200万円を支給する“前例のない給付金”を創設。業種を問わず、個人事業主なども対象に含め、約424万件の事業者に届けられました。
- ◆**雇用調整助成金の拡充**
雇用の悪化に歯止めをかけるため、国会質問などを通じて支給要件を緩和し、助成率を休業手当の最大全額(日額上限1万5000円)に引き上げる特例措置の延長も実現しました。
- ◆**所得の低い「ひとり親世帯」を支援**
低所得のひとり親世帯に一昨年、2度の給付金(1世帯5万円、第2子以降は3万円を加算)を支給。昨年は、低所得のふたり親世帯も含め、子ども1人一律5万円を支給しました。

福岡各地で「コロナ対策アンケート」を開始!

新型コロナの感染拡大により、お一人お一人の生活がどのような影響を受け、どのような支援を必要とされているのか、皆さまからいただいたお声をもち、公明党が先頭に立って今後のコロナ対策・支援策に取り組んでまいります。



WEBでも回答
できます
上記より
アクセスしてください

映像配信中!

福岡から、コロナに打ち勝つ日本をつくる。
(7分30秒)



あきの公造
ヒューマン・ヒストリー
(8分14秒)



コロナ対策の“切り札” 国産飲み薬、いよいよ実用化へ!

公明党の主な取り組み

2021 4月16日 → 10月12・13日 → 2022 2月8日

塩野義製薬と意見交換スタート



実用化のカギとなる「条件付き早期承認制度」について塩野義製薬と意見交換。その後、首相に緊急要望も。以降、長崎大学を交えた議論を重ね、9月24日には治験が成功した場合に一定量を国費で購入する基本契約を製薬メーカーと結ぶよう官房長官に提言しました。

衆参本会議で代表質問



山口那津男代表は、国産ワクチン・治療薬の開発・実用化に向けた強力な支援を政府に要求。石井啓一幹事長も、国産飲み薬の治験が成功した場合に、国内用に一定量を確保できる基本契約を製薬会社と結ぶよう求め、2021年度補正予算に費用が計上されました。

早期実用化へ首相に緊急要請



岸田首相に国産飲み薬の確保などを要求。また衆院予算委員会で、首相から「条件付き早期承認制度も含めて迅速に審査したい」「安全性と有効性が確認できれば、承認を前提に購入契約を結ぶことが可能」との答弁を引き出し、塩野義製薬の承認申請を後押ししました。

※「条件付き早期承認制度」…薬の十分な有効性を示せれば、最終段階の治験が完了する前でも実用化が認められる特例制度。

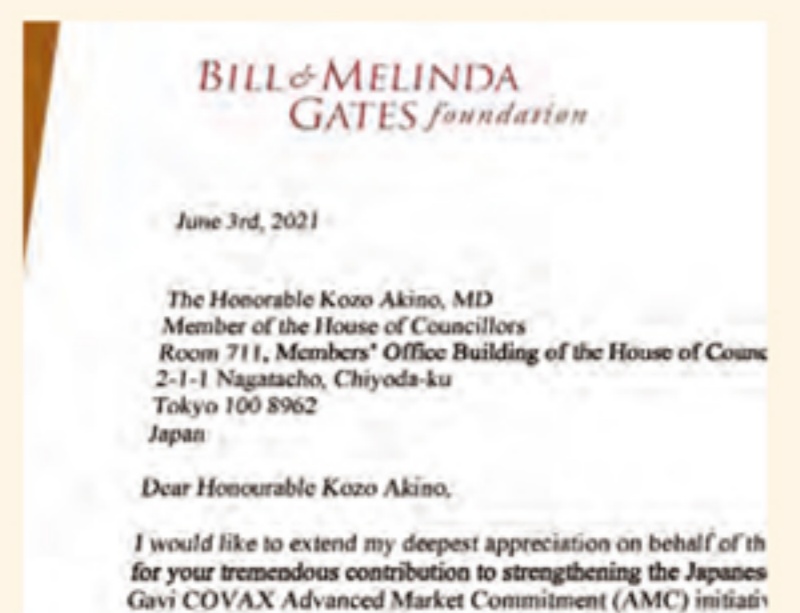
公明党が途上国への ワクチン供給をリード ビル・ゲイツ氏から感謝状

— 公明党の「人道主義」に感銘 —

世界最大の慈善団体「ビル＆メリンダ・ゲイツ財団」を設立したビル・ゲイツ氏(米マイクロソフト社の創業者)から、途上国のワクチン供給に向けた支援を強く推進してきた公明党の山口代表やあきの公造参院議員に感謝状が贈られました。昨年開催された「COVAXワクチン・サミット」で、日本政府が「COVAXファシリティー」に対し、8億ドルの追加拠出を表明。公明党が強く求めていたもので、ゲイツ氏は、「極めて重要な役割を担っていただきましたこと、心より御礼申し上げます」と謝意を表明しました。



オンラインで会談するビル・ゲイツ氏と山口代表(今年1月)



COVAXファシリティー
途上国にも公平にワクチンを供給する国際的な枠組み。あきの公造参院議員ら公明党の主張を受け、日本は先進国の中でいち早く参加を表明。多くの国が続く流れをつくった。